

2月11日、「災害は必ずやってくる！、菊水区でも防災研修会を行いましょう」との区民の皆様の声で、初めての防災研修会を行いました。区では、町内会長、副会長、安全安心部員、防災委員、防災士、防災マスターに声をかけまして、都合のつく方々44名が参加されました。新十津川警察署の署長さんをはじめ、4名の警察官の方も参加してくれました。

町の防災対策室より避難所運営ゲームの説明です。自己紹介にはじまり、菊水会館内に避難所を設置するときの、配慮事項を考えて行きます。発電機の場所は？、ゴミの保管場所は？、通路の設置や避難場所内の配置はどうしたらよいだろうか？、要支援の方々の場所はどこに作ろうか？に、みんなで意見を出し合って設置して行きます。

「急に、旅行者の方や町外の方が来たらどうするのか？」「インフルエンザの症状が出ている方が来たらどうすべきか」、カードの中にはいろいろな課題が書き込まれています。

今回は、館内の電気系統を災害時に切り替えて、発電機にて賄いました。照明、トイレのヒーター、ストーブ、冷蔵庫などを使用した状態で、発電機はガソリン満タン 10.8Lの状態から約3時間使用できることが分かりました。厳冬期は余裕を持って1日、24時間に使用するには、満タンガソリン 18リットル缶が5缶ほど必要なんですね。日常点検と研修の重要さが分かりました。



Q1 今回の「防災研修会・避難所運営」の内容について、良かった点、悪かった点を教えてください。

- ・役場からの最初の説明がわかりにくい。声が小さい
- ・ゲームの設定条件により対応に変化が発生するので、最初に説明があったほうが良いと思いつた。
- ・避難所運営について、町のマニュアルを示してほしい
- ・今回の研修会では、いかに避難所を運営するのが難しいかと思いきや知らされました。
- ・避難所の運営について知ることができました。
- ・今回は会館での設定であったが、中学校への避難時練習も必要と思われる。
- ・避難に関する「気付き」が出来ました。
- ・一昨年の「ブラックアウト」時の、菊水会館での避難所運営の実際が説明され、想像できて良かった。

- ・いろいろな家族がいるので、部屋割りが難しく困った。これが本当になるともっと困窮すると思う
- ・D Oハグを使った避難所運営ゲームでしたが、みんなで考えることが出来良かった。
- ・対応すべきことが多くあることに気がついた。
- ・本部の人の居住スペースが無い。テントなどの準備が必要
- ・インフルエンザ、旅行者への案内を会館に掲示しておくべき
- ・避難者に対して受付で対応する人を決めておくの良い
- ・初めて避難所の図面上具体的に実施できたのは良かった。
- ・プライベートを確保する方法について工夫が足りなかった。
- ・小さな会館では、避難者を如何に振り分けるかが難しい。
- ・多数の考え方があり良かった。
- ・実際に避難をしてくる人数がはっきりとしないが為、想像が付かない。

- ・むずかしい。研修会を何回かやらないとだめだと思いました。
- ・色々なシーンが想定され、マニュアル作りの参考になる。
- ・良い経験になった。定期的に研修、訓練が必要です。
- ・季節が冬である場合、特に難しい課題になる。

Q2 「災害時避難要支援者」や「介護を要する方々」への支援です。

避難場所は、地震時は1次は菊水会館、2次は中学校、水害時は全て中学校と指定されています。災害時、各町内会ではどのように行動すれば良いでしょうか。

- ・2次は農業高校でだめなのか？
- ・マニュアル作成時に最初から中学校と明記してはどうか
- ・防災無線などで日頃から周知するようにはどうか。
- ・避難所情報を早く住民に周知することが大事

- ・町内会では避難困難者の支援をしなければならない。
- ・各町内会でも、要支援者や介護が必要な人をだれが支援するのかを決める必要があると思いました。
- ・町内会広報で年1回程度、避難場所について広報してはどうか。
- ・要支援者の避難に対する理解も必要
- ・町外へ避難する場合連絡のルール
- ・緊急時のタイムラインによる行動の周知

- ・町内会での日頃の活動では支援は難しい
- ・町内会では難しいと思う。

Q3 初めて区主催の防災研修会を実施しました。いろいろと不十分な点があったと思います。菊水区や町防災対策室への要望事項について教えてください。

- ・参加者を増やし、災害に対する意識を高めてほしい。
- ・研修会を何回も回数を増やすのが必要だと思う。
- ・町内会長や役員は1年毎に変わるので年1回研修会を行うことを決めてはどうか
- ・マニュアルがあっても決してその通りに行く訳ではない、コミュニケーションをしっかりと行う事で早急な対応が執れると思う。

- ・安否確認のための世帯台帳（家族含む）はどうするか。
- ・他自治体の実際の避難所運営の資料があればよいと思いました
- ・実際、役場職員が最後の説明にあった「どれも正解がある訳では無いが…」の言葉通り、役員だけで対応するのではなく区民一人一人が災害と向き合う姿勢が必要だ
- ・災害時のペット置き場を事前に決めておいた方が良い。ペットをたくさん飼っている人が多いから
- ・菊水区を想定し、地域で作るタイムラインの策定が望まれる。
- ・地域で集まって議論して構築していく、ボトムアップ型防災でやらないと、地域が一体となった防災行動につながらないと思っている。

※タイムライン

災害は、地域で発生する。住民の命を守ることを目的として、地域の防災機関や様々な主体が

「いつ（どのタイミング）」

「何を（どのような防災行動）」

「誰が（各主体の役割）」

の、3つの要素を、事前・発災時・事後の時間軸に沿って防災行動計画として文書化しておくもの